議員活動自己検証シート（公約の取組）　令和7年度

会派名	清友会
期数　（議員歴）	6期　（22 年）

議員名	検証項目（10項目）	所属委員会 等	
宍戸 稔	【検証値の捉え方】 1年間の議員活動・取組内容について・・・・・ ➡「ほぼ満足している」＝ ”A” 1.0 ➡「さらに努力する余地があると思う」＝ ”B” 0.5 ➡「思ったような取組ができていない」＝ ”C” 0		総務常任委員会 予算決算常任委員会 議会運営委員会　委員長

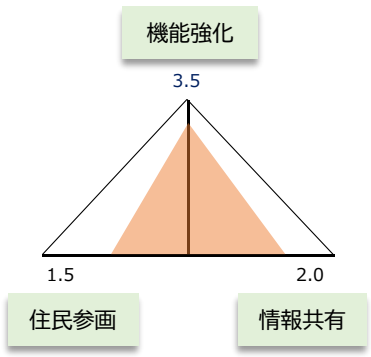
公約を検証する背景（根拠）	議会基本条例前文「市民の代表として選ばれている議員は，市民の負託にこたえる責務を負っている」／21条「この条例の目的及び趣旨の達成状況について検証を行う」
検証の対象／分野	議会基本条例第４条　議員活動の原則／議会活動の活発化「住民参画」「情報共有」「機能強化」分野の取組について（早稲田大学マニュフェスト研究所文献引用）
検証方法	「公約」について，成果如何に捉われず，その実現に繋がる年間の議員活動・取組内容を自己検証する（本シートに記載する公約内容は自由選択：重複可）

議会基本条例第４条（議員活動の原則）

❶　【情報共有】【住民参画】選挙によって選ばれた市民の代表であることを自覚し，市政の課題全般について市民の思いを的確に把握し，市民全体の福祉の向上をめざすこと。
❷　【機能強化】議会が言論の場であること，及び合議制機関であることを認識し，議員相互間の自由な討議を重んじること。
❸　【機能強化】日常の調査及び研修活動を通じて自らの資質の向上に努めること。
❹　【機能強化】地方自治の本旨にのっとり，政策，条例，意見書等の議案を提出する努力をすること。
❺　【機能強化】【情報共有】市政の課題に関する論点を市民に明らかにするため，一般質問を一問一答方式により行うこと。

（公約1）地域の声を市政に

地域資源の魅力（小規模校の魅力）を活かした地域づくり　学校再編計画に伴う取り組み

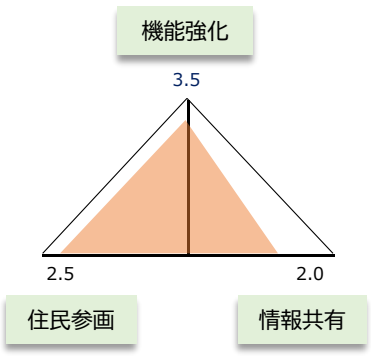


		検証	1年間の主な活動・取組内容，または，取り組めなかった事項と理由　等 注）検証に繋がる活動等，成果等（事業の見直し等）を記入すること。
住民参画 3point	(1)　住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	B	君田町に限らず、再配置計画対象校地域住民等の意見を個人や住民自治組織役員から「議員と話そう」での中からも聞き、議員として、議会としての取り組みの中で活かせた。 地域の報告会の中で計画、経過の報告を行った。
	(2)　地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	A	
	(3)　住民自治組織活動や地域活動など，まちづくりへの参加・実践	C	
情報共有 3point	(4)　現場調査・現状確認，聞取り，先進事例等の調査研究活動	A	学校再配置計画を進めるにあたっての地域住民との対話が出来ておらず、拙速な進め方に対する不満や不安の声に基づき、議案に対する修正案を提案し、可決した。 引き続き、現場の声聞き、他の自治体の取り組みの経過などの調査を行いながら、議論を議会内で行っている。
	(5)　住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	A	
	(6)　地域等における報告会の開催やSNS，チラシ・広報誌等による情報発信	C	
機能強化 4point	(7)　一般質問等による政策や事業改善の提案	A	学校再配置計画を進めるにあたって、一般質問においてこの一年間で2回取り上げ教育委員会、執行部を質した。 慎重であるべきとの議員間での討議、会派内での討議をこの一年間継続的に行ってきた。また、学校の在り方をテーマにした全国の議員研修会にも参加し、自己のスキルアップに取り組んだ。
	(8)　議員間討論への積極的な参加，会派内での情報共有の徹底	A	
	(9)　各種計画書の分析，条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	B	
	(10)　スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	A	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	値合計
0.5	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.5	1.0	7.0

（公約2）地域の声を市政に

農畜林業の振興　従事者の高齢化、後継者不足、小区画圃場の整備

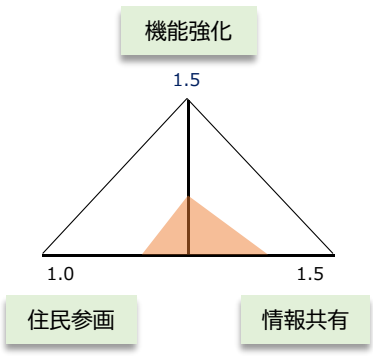


		検証	1年間の主な活動・取組内容，または，取り組めなかった事項と理由　等
住民参画	(1)　住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	A	農業従事者の高齢化、後継者の不足が大きな課題としてある中では、農作業の省力化及び効率化の必要性がある。中でも中山間地域での圃場の条件整備（用排水路整備、区画整備）はこれからの地域農業を維持する上で大きな改善策の一つである。このことは、地域の農業法人、大型農家から強い要望として聞く。このことから県、市の事業説明会を開催に取り組んだ。
	(2)　地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	A	
	(3)　住民自治組織活動や地域活動など，まちづくりへの参加・実践	B	
情報共有	(4)　現場調査・現状確認，聞取り，先進事例等の調査研究活動	B	農林水産省農地整備課の担当者からの事業説明を聞く。予算決算常任委員会等で市内の取り組み状況など現状把握に努める。地域での報告会で状況報告を行う。
	(5)　住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	A	
	(6)　地域等における報告会の開催やSNS，チラシ・広報誌等による情報発信	B	
機能強化	(7)　一般質問等による政策や事業改善の提案	A	一般質問で市の取り組み状況、課題意識の確認と今後の方向性について質す。農林水産省農地整備課の担当者からの事業説明を受けるなど、自己のスキルアップを図ってきた。
	(8)　議員間討論への積極的な参加，会派内での情報共有の徹底	A	
	(9)　各種計画書の分析，条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	B	
	(10)　スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	A	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	値合計
1.0	1.0	0.5	0.5	1.0	0.5	1.0	1.0	0.5	1.0	8.0

（公約3）地域資源の魅力発信と交流人口の拡大

みよしDMO　三次観光推進機構の取り組み状況



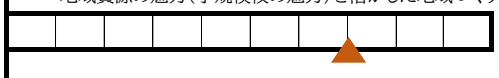
		検証	1年間の主な活動・取組内容，または，取り組めなかった事項と理由　等
住民参画	(1)　住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	B	地域資源を最大限に活用し、観光産業として地域経済の活性化を図るために組織されたDMOが、設立から3年を迎えたが「従来の観光協会との役割の違い」「事業の主体性」「関係団体との連携体制」の不透明さが課題となっているとの指摘もある。これらの課題を解決するため、関係各所への積極的な働きかけと、連携体制の構築を図っていく。
	(2)　地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	B	
	(3)　住民自治組織活動や地域活動など，まちづくりへの参加・実践	C	
情報共有	(4)　現場調査・現状確認，聞取り，先進事例等の調査研究活動	B	上記の住民の疑問や地域の意見を聞き、本会議での一般質問を行う。尾関山桜祭りは以前より縮小傾向にあるように見られている。実施主体に市は関わりを持っていない。桜の名所が観光に十分生かされていない状況が把握できた。
	(5)　住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	A	
	(6)　地域等における報告会の開催やSNS，チラシ・広報誌等による情報発信	C	
機能強化	(7)　一般質問等による政策や事業改善の提案	B	一般質問で問題提起は出来たが、提案までには至っていないことが課題と捉えている。
	(8)　議員間討論への積極的な参加，会派内での情報共有の徹底	A	
	(9)　各種計画書の分析，条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	C	
	(10)　スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	C	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	値合計
0.5	0.5	0.0	0.5	1.0	0.0	0.5	1.0	0.0	0.0	4.0

公約に係る年間の議員活動・取組状況の検証と次年度の目標設定や課題の週出

地域の声を市政に

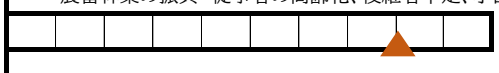
地域資源の魅力（小規模校の魅力）を活かした地域づくり　学校再編計画に伴う取り組み



7.0

地域の声を市政に

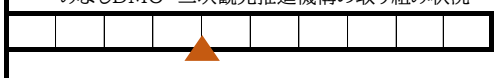
農畜林業の振興　従事者の高齢化、後継者不足、小区画圃場の整備



8.0

地域資源の魅力発信と交流人口の拡大

みよしDMO　三次観光推進機構の取り組み状況



4.0

活動の一コマ

地域の声を受け一般質問した学校再編。
君田中学校、3月に閉校。

※昨年度に課題として掲げたことに対する取組や次期の活動目標など

地域資源である君田温泉を活用した「地域の賑わい創出」や「活性化」が十分になされていない。運営が民間へ移行して以降、住民の間で「地域の施設」という意識が希薄化し、利用客の減少を招いている。こうした状況を改善するため、まずは地域との接点を強化すべく、新春の集いに運営会社の社長の出席を求めた。これを機として、さらなる地域住民との信頼関係の再構築と、連携の強化をめざす。

学校再配置計画の進め方については、これからも議会として、保護者会や地域住民の声を聞き、行政との調整が必要とする課題として取り組む。

圃場整備事業については、地元住民との話し合いを持ちながら。実施に向けたの取りまとめに努める。

地域観光資源を生かした地域の賑わい向上と交流人口の拡大を図るうえでの課題解決に努める。

無断複製・転用はご遠慮ください。

三次市議会　議会運営委員会